

「入学式に想う」

カリフォルニアの青い空のもと、おかげさまで、令和6年度がスタートいたしました。  
みなさまのご支援とご協力のたまものと、心より感謝申し上げます。

さて今月号は、入学式での子どもたちのスピーチ内容を文字に起こしました。小学部の方は、2年生代表からの「1年生を迎える言葉」を、中高部は入学生代表の「抱負や誓いの言葉」です。いずれも内容が素晴らしいです。これまでの学びの結果の現れと想っています。またスピーチする様子も堂々としていて感嘆するほどでした。お家の方のご協力と先生方のご指導のおかげです。ありがとうございました。

・ 幼小サンノゼ校 小学2年「1年生を迎える言葉」

1年生のみなさん、ご入学おめでとうございます。みなさんは今、どんな気持ちですか？

わたしは1年まえ、あたらしいクラスでは、どんなともだちができるのか、じゅぎょうではどんなことを学ぶのか、すごく楽しみに入学しました。

いまドキドキしている人もいると思いますが、しんぱいありません。先生はみんなやさしいですし、おともだちもすぐにできます。それにじゅぎょうはとてもたのしいです。

ほしゅう校でみなさんは、日本ごでこくごとさんすうをべんきょうします。こくごでは、「きもち」や「ようす」をひょうげんするたのしさを学びます。ひらがなやカタカナ、そしてすこしずつかんじもおぼえていきます。わたしはこくごのじゅぎょうが大すきで、とくに音どくの発表かいがとてもいんしょうにのこっています。

さんすうのじかんは、すう字や形についてあたらしいはっけんをたくさんします。おともだちといっしょにかんがえたり、先生のじっけんをみるのはとてもたのしかったです。このように、こくごとさんすうであたらしいことをたくさんすることができたので、まいしゅうのじゅぎょうがたのしみでした。

べんきょういがいにも、たのしいことがいっぱいあります。としょかんでおもしろい本をかりたり、学校のお祭りにさんかしておみせでかいものをしたりできます。みなさんとワイワイたのしむのがまちどおしいです。きょうから、みなさんもこの学校のたいせつななかまです。

クラスでは、先生やおともだちとよくはなしをして、ルールをまもりながらたのしい学校せいかつをおくりましょう。わたしたち2年生がいろいろおしえてあげられるといいなとおもっています。みなさんもこの学校で先生やおともだちとたのしくすごしてください。

・幼小サンフランシスコ校 小学2年「1年生を迎える言葉」

しん1年生のみなさん、ご入学おめでとうございます。

みなさんと会えるのを、とてもたのしみにしていました。

わたしから、ほしゅうこうでの生活について、すこしですがしょうかいします。

1年生になると、日本ごでべんきょうするようになります。

たとえば、さんすうは、げんちこうでもなっていると思いますが、ほしゅうこうでは、日本ごでもんだいをよんで、こたえなければなりません。げんちこうのえいごのさんすうとは、ぜんぜんちがいます。

まず、さんすうのもんだいに出てくる日本ごがしっかりつかえるようにならないといけません。わたしは、しゅくだいでしていたおんどくのおかげで、かん字や日本ごのぶんしょうがスラスラ読めるようになって、さんすんのもんだいもじょうずにこたえられるようになりました。だからわたしはおんどくのしゅくだいを、きちんとすることをおススメします。

べんきょうのほかにも、ほしゅうこうでは、うんどうかいやふるほんいち、おたのしみ会など、たのしいイベントがたくさんあります。

その中でもわたしは、うんどうかいがとてもたのしかったです。ともだちといっしょに、かけっこや玉入れをおもいっきりがんばりました。

このように、日本ごや日本の文化にふれていくことで、いつかは、ほしゅうこうのこうかにあるような「せかいのかけはし」になっていけるのだと、思います。

今日からみなさんといっしょに、がっこうせいかつがおくれることを、とてもうれしく思います。さいしょは、わからないこともたくさんあると思います。そんなときは、先生方やわたしたちに、なんでもきいてください。これから、いっしょにがんばりましょう！

・中高部サンノゼ校 中学1年「新入生抱負」

暖かい春風が心地よい季節となりました。

本日は、私たち新入生のために、このような素晴らしい入学式を開いてくださり、ありがとうございます。

今日から私たちはサンフランシスコ日本語補習校中高部サンノゼ校の一員として歩み始めます。小学部とちがって、中学部では勉強も難しくなり、期末テストもあると聞いています。悩んだり、立ち止まったりすることもあるかと思いますが、先生方や先輩方にアドバイスをいただきながら、仲間と支え合って乗り越えていきたいです。

これから始まる中学部での生活には不安な気持ちもありますが、希望と期待に満ち溢れています。みんなで楽しく過ごし、新しい発見でいっぱいの実りある中学校生活となるよう努力していきたいと思います。

・中高部サンフランシスコ校 中学1年「新入生誓いの言葉」

本日は、僕たち新中学1年生のために、このような立派な入学式を行っていただき、ありがとうございます。先生方、在校生の方々、そして保護者の方々に見守られながら、中学部に入学できたことを大変うれしく思います。

僕たちは、6年生の終わりに、全員が将来の夢についてスピーチをしました。今日は、その夢を叶えるための一步を踏み出す日だと思います。

小学部では、カルタ大会、特別授業、運動会やドッジボール大会など、数多くの行事を経験する事ができ、忘れられない思い出になりました。

僕が生まれたとき、姉がすでに補習校に通っていたので、自分が入学する前から、土曜日は補習校に来ていました。

やがて、幼稚部へ入学することができ、小学生時代の僕は、当たり前のように、補習校を自分の居場所と感じながら、通っていました。ですが、今回中学部に進学を決める時には、自分の中で、補習校へ通う目的をはっきりさせる必要がありました。そこで僕は、やりたいことや、将来なりたいものがある中で、自分にとって、補習校がどんな存在であるのか考えました。

毎週、先生や友達と日本語で学び、日本の文化の元で学校生活を送る事は、他の文化や価値観を尊重し、対応していく力がつくと思います。また、教科書から学べることに加え、日本文化を深く理解していれば、自分の世界観も広がると思い、中学部に進学したいと思いました。

これからは、授業の内容も難しくなるので、大変に感じるかもしれません。補習校の勉強を続けていくことは簡単ではないと思いますが、目標を見失わず、考え、工夫し、未来の自分に力がつくと信じてがんばりたいです。そして、人に言われるのではなく、日々自分で考え、主体的に行動しようと思います。

僕が好きなサッカー選手は、「チームワークは成功の鍵です。私たちは皆、個人的な能力を持っていますが、それを最大限に発揮するためには、チームとして協力し合うことが不可欠です。」と言っています。僕はこの言葉を忘れずに皆と関わり合い、球技大会や文化祭などの行事を、思い出深いものに作り上げていきたいと思います。また、姉のように、卒業後、補習校のクラスメイトと集まったり、仲の良い関係を続けていけることを願っています。

僕たち新入生は、最初はわからない事がたくさんあると思いますが、上級生の方々から数多くのことを吸収し、成長していきたいと思います。合わせて、僕たちを支えてくださる方々への感謝の気持ちを忘れずにいたいと思います。

先生方、上級生の皆さん、どうぞよろしくお願いします。

・中高部サンノゼ校 高等部1年「新入生抱負」

人生には様々な始まりがあります。

赤ちゃんが、初めて言葉を話す時の始まり。

失敗し、新しいことに挑戦する時の始まり。

新しい教科書を開き、最初の言葉を読む時の始まり。

そして今日、私達に新たな始まりの時が訪れました。高等部での新しい生活の始まりです。

日本語補習校は限られた時間の中で、知識やスキルを身につけ、成果を上げるために努力をするところです。今日、高等部に一緒に進学した仲間には、日本で生まれてベイエリアにきた友達もいれば、保護者が日本生まれでも自分は米国生まれの友達もいます。そしてみんな、現地校での勉強と両立をしながら、この限られた土曜日の時間を大切に使い、一緒に努力をする仲間です。

一方で、私には不安がありました。現地校と同時に学べるかということです。時には綺麗にステップを踏める日もあれば、足を踏み外して落ちてしまう日もあるかもしれません。でも、この補習校なら、たとえ間違えても笑い合い、仲間たちと支え合える、親友や先生、そして家族の手を借りながら進められると、今、こうして友達や家族の顔を見ながら確信をしています。私達は、いずれは社会に出る日がきます。そのときのために、補習校で自分がどれだけ頑張れるか、練習をしているのだと思います。決して恐れてはいけないと、心を新たにしました。

本日、私は補習校に通い始めて11年目を迎えました。3年前、6年生で小学部を卒業した時には、高等部があることすら知りませんでした。中3の秋、高等部進学の説明を聞いたとき、中途半端で終わるのは嫌だ、友達とずっと一緒に通いたい、今までの努力を続けて最後まで行きたいと強く思いました。

2年間という限られた高校生活は、すでにカウントダウンが始まっています。この貴重な時間を無駄にすることなく、私たちは成長し、友情を深めていく必要があります。

今日も新しい友達との出会いがありました。苦手教科をみんなで助け合って理解を深めたり、得意分野で教え合ったりできればいいなと思います。

一人一人が大切な存在であることを忘れずに。

今、高等部の入学式で席に着いていることが、どれだけ素晴らしいかを忘れずに。

10年後の4月6日、私達はどこにいて何をしているのでしょうか。日本語を活かしているのでしょうか。未来は誰にも分かりません。しかし、今この瞬間に全力で取り組むことは可能です。素晴らしい日本語と日本の文化に感謝しながら、今日から始まった新しい2年、そして補習校生活の残り2年を無駄にすることなく頑張っていきたいと思います。

先生方、先輩方、ご指導をよろしくお願いいたします。

・中高部サンフランシスコ校 高等部 1年「新入生誓いの言葉」

小学1年生で通い始めてから丸9年が経ち、10年目になる今年は晴れて高校生として入学することができました。今日ここに代表として立っていることを誇らしく思っています。

9年間も続けてきた補習校ではもちろん授業やイベントでの楽しい思い出がたくさん湧いてきます。その楽しみがあったからこそ続けてこられたのですが、振り返ってみるとアメリカに住みながら、補習校に行っているからこそ学べたことがいくつもあるように思います。

補習校に行くことで様々なことに対する視野が広がったと私は感じています。国語や日本の歴史を学ぶことにより、アメリカの歴史と照らし合わせて比較することで、違った考え方や視点、双方の立場で考える事ができます。数学や理科では日本語での用語や問題の解き方を補習校で学ぶことにより、現地校で同じ課題を学んでいるときに、「あっ、これ補習校ではこう学んだな」と、関連付けて考えられることもあって、その単元での理解がより深められたと感じることが多くありました。さらに、授業内容に限らず、対人関係でも多く学びました。中学2年生で入部した朗読部でも、違う学年の人との交流や、何かうまくいかなかったときにそこからどうやって目標に向かって進めばいいのかなど、いろいろなコミュニケーションの取り方を学ぶことができたのは嬉しい発見でした。また、みんなが楽しんだ文化祭でも、毎日会えない中、クラスの出し物の作業を進めるために平日も連絡を取り合って、そこで仲間との協力の仕方、問題解決する仕方を模索することができました。

これらのことを一緒に学んで支え合った仲間はかけがえのない存在になったと思います。補習校で学んできたことが将来どれだけ役立つかはわからないけれど、日本人として日本語で授業を受け、日本のことについて学び、それを似た境遇の仲間たちと同じ環境で学ぶ経験は自分にとって一生意味があることだと信じています。これからみんなどんどん忙しくなっていくと思いますが、それでも補習校に行くことと決意して今日の日を迎えました。私は趣味の音楽やそのほかの課外活動と、現地校とのバランスをうまくとりながら、一緒に補習校の仲間との結びつきを深め、協力し、たくさん学び、楽しい高校生活を送りたいです。

ここまで通ってきた補習校があと2年で終わりなんだと思うとあまり信じられないのですが、みんな辛い時を共に乗り越え、嬉しい時を共に喜んで、悔いを残さないように残りの補習校生活を送ることをここに誓います。

スピーチ内容の文字起こしを進めていくと、大切なお子様をお預かりすることに改めて身が引き締まる想いです。それと同時に、サンフランシスコ日本語補習校のよいところを新たに見つけられました。それは、「いっしょに学び、ともに生きる」仲間がいるところ。そして、その仲間がたくさんいて、異学年とも交流できるところ。さらに、これらの活動を保護者の皆様が全力で支えてくださるところ、ということ。

このよいところを今後も受け継ぎ、私ども教職員一同、子どもたち、保護者の皆様のご期待に添えるよう、心一つにして努めてまいりたいと想います。

今後ご理解とご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます